

学生命名「サンピエナ」

豊田市を元気にしようと活動する学生団体「とよた学生盛りあげ隊(学盛)」が、トヨタ自動車女子バレー部のチーム名「サンピエナ」を考案した。英語で

「太陽」の「sun」と、イタリア語で「洪水」の「piena」に由来し、選手たちの笑顔あふれる明るいチームカラーを表現した。学生たちの熱い思いを背に、チームは昨年脱退したVリーグ復帰を目指す。

(生津千里)



トヨタ自動車女子バレー部



風船を使ったゲームを楽しむ学生と選手ら
豊田市小坂本町の市青少年センターで

「盛りあげ隊」協力 Vリーグ復帰へ再始動

学盛と同部の交流が始まったのは、二〇一八年にバレーボール好きのメンバーが、当時Vリーグに所属していたトヨタ自動車女子バレー部「ヴァルキューレ」の試合を観戦したことがきっかけだった。会員制交流サイト(SNS)にその様子を投稿し、同部コーチの太田有紀さん(三毛)からメッセージを受け取った。

同部は昨年四月、所属選手の手数が規定に満たなくなるとVリーグを脱退。翌月から実業団として再出発するにあたり、太田さんがヴァルキューレに代わる名前を考えてほしいと学盛に依頼

した。学生たちは試合を観戦したり、選手と交流を深めたりしながら候補を出し合った。一年余りの時間をかけて三つに絞り、サンピエナに決定した。

愛知大四年の塚本果歩さ

ん(三)は「チーム名はこれからずっと使われていくので責任重大だけど、普通の学生生活を送っていたらできないこと。とてもいい機会だった」と振り返る。

九月下旬、豊田市小坂本町の市青少年センターで学盛とサンピエナの交流会が開かれた。コロナ禍での生活や練習について質問したり、風船を使ったゲームに興じたりして盛り上がった。サンピエナの田戸美咲選手(三)は「学生から名前を付けてもらうことは、他のチームにはない。名前に合ったチームになるように頑張りたい」と、Vリーグ復帰に向け百人力を得たことを喜んだ。

今後、サンピエナのマスクも学盛が手掛ける。愛知教育大四年の松田朋華さん(三)は「しっかり内容を詰めて、選手たちに気に入ってもらえるものを考えたい」と笑顔で話した。